

【NEWS RELEASE】

2021年2月26日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社ニホンケミカルに「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社ニホンケミカル（代表取締役社長：石田 雅裕）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社ニホンケミカルについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 金属表面処理を通じたサプライチェーンのエネルギー消費・有害化学物質排出の抑制

目標7 エネルギーを みんなに そしてクリーン	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
目標12 つくる責任 つかう責任	12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組に従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

② 優れた生産管理による顧客の生産性向上、品質管理の徹底による廃棄物の発生抑制

目標8 働きがいも 経済成長も	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
目標12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



ニホンケミカル本社工場
(広島県三原市)



加工後の徹底した製品検査



地域イベント
(やっさ祭り) への参加

<ご参考>

※ SDG sとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。